

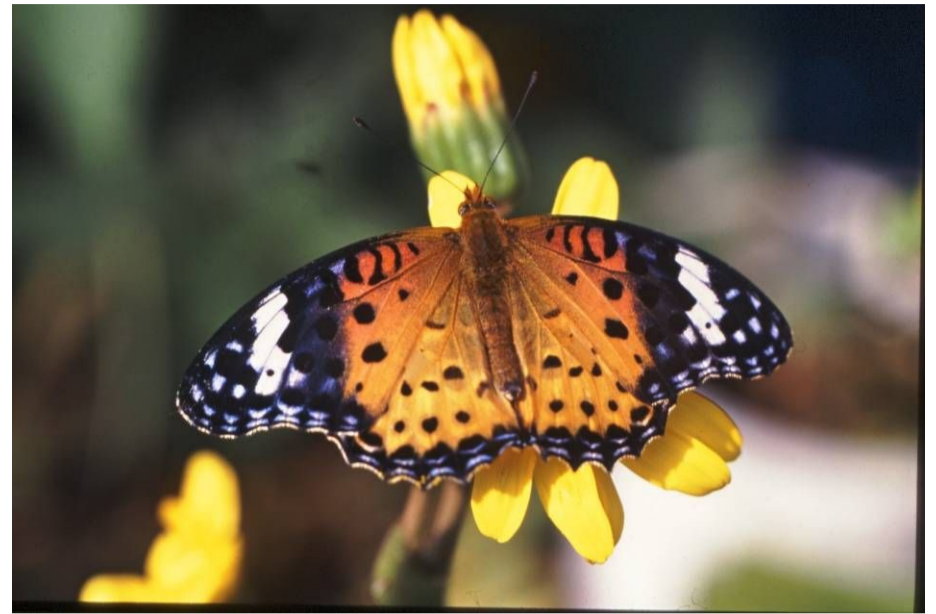
## ツマグロヒョウモン

かつて、このチョウは静岡県には全く分布していませんでした。それが1990年代から分布を広げ、一気に個体数が増え、現在では栃木県や群馬県でも確認されています。そのため、本種はヒョウモンの仲間の中で、県内において最も普通に見られるヒョウモンとなりました。

成虫のよく見られる所は、他のヒョウモン類と同じく草原であり、平地、丘陵地の路傍で見られることも多くあります。近年は栽培種のパンジーが都市部で植えられているため、都市部や市街地で見かけることが多くなってきています。

飛び方は緩やかで、オスもメスも花の蜜を好みます。

幼虫の食草は各種のスミレ類（スミレ科）です。



### 富士市での現状

標高の低い市街地でも普通に見られます。本種の幼虫はパンジーを好むので、小中学校の花壇でパンジーを植栽していれば確実に見られます。少し標高の高い神戸地区や丸火自然公園、金丸山公園等でも見られます。ただし、スギやヒノキの暗い林の中では、ほとんど見ることができません。

ツマグロヒョウモンを確認したメッシュ

